

部課室名	農林水産部農林水産局 総合農政課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	課長 廣田 道夫 (小川 至紀)	内線	3927 (3946)
------	---------------------	---------------------	---------------------	----	----------------

事業種目	中山間地域振 興対策	事業名	事業区域	総事業費	
		新山村振興等農林漁業特別対策事業	但東地区	5 4 0 百万円	
所在地			着工予定年度	完成予定年度	
但東町但東地区			1 3	1 6	
事業の目的			事業内容		
<p>中山間地域の特性を踏まえつつ、地域農業の振興や都市との交流、定住条件の整備を総合的に振興することにより、平地との格差是正を図る。特に本地区は従来からの取り組みである特産品開発の一層の拡大と地域の元気な高齢者の活用等を通じ、快適で心豊かな生活空間を創造し、定住人口の増加を目指す。 事業主体：但東町</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者デイサービス施設 1棟 1,047 m² ・農林水産物処理加工施設 1棟 165 m² ・赤花そば体験施設 1棟 200 m² ・総合鳥獣被害防止施設 38,000 m 		
評価視点		評価結果の説明			
(1)必要性		<p>但東町は、これまでふれあいセンター「やまびこ」や「赤花そばの郷」等の施設を拠点にした都市との交流を積極的に推進した結果、交流人口が年間4.4万人にまでなり、雇用機会の創出や特産品開発等による地域所得の向上等に大きく貢献している。特に、「赤花そば」栽培の取り組みは、転作と田園景観形成の面でも地域農業の振興に大きく寄与している。今後ともこれら施設を拠点に、さらなる特産品開発(味噌・漬け物・おにぎり等)や体験(そば打ち)等を通じて、所得の向上と雇用の場の確保を図る必要がある。</p> <p>一方、今後の一層の過疎化・高齢化(現在高齢者比率 31%)の進展に対応するため、高齢者の福祉対策とともに元気な高齢者が農業指導や文化活動等を通じて生きがいに満ちた生活を送ることができるよう、活動を支援することが必要である。</p> <p>また、近年町全域において野生鹿等の鳥獣による農作物への被害が増えつつあり、このまま放置すれば農家の生産意欲の衰退とともに、耕作放棄による公益的機能の低下につながる。そのため鳥獣害防止施設も併せて実施する必要がある。</p>			
(2)有効性・効率性		<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施により下記の効果が期待できる。 高年齢者の福祉・生きがい対策による定住促進効果と新たな雇用者の増加。 特産品開発等により農業所得の増加。 鳥獣害防止対策等による耕作放棄地面積の減少。 ・用地等地元協力の体制も整っている。 			
(3)環境適合性		<p>資源の有効利用と循環を図るため、事業で実施する施設については、極力木造とし、内装についても木質化に努める。また、施設の周辺は緑化に努めるとともに、景観等へも配慮する。</p>			
(4)優先性		<p>12年度から始まる中山間地域直接支払制度と併せて実施し、また関連する施策と連携して実施することにより、中山間地域振興への相乗効果が期待できる。そのため13年度の実施が必要である。</p>			
評価の結果	着手妥当	左の理由	審査の結果、事業着手が妥当と認められた。		